

一般社団法人 大阪総合医学・教育研究会
令和 8 (2026)年度 定例学術研究会

こどもと家族のレジリエンスを高める支援 —現状と課題

一般社団法人大阪総合医学・教育研究会では、職種領域を越えて心因性疾患やその周辺領域の子どもへの理解を深めるべく昭和 52 (1977) 年から定例学術研究会を開催しています。

令和 8 年度は「こどもと家族のレジリエンスを高める支援」を年間テーマとしました。各専門領域において、子どものさまざまな問題に対する理解と対応はかなり進んできています。しかし、その反面で「支援が必要な子どもである」との考えが先行し過ぎると、実際は子ども自身で解決できる問題にも介入や助力をすることになり、子どもが自分なりに取り組んで達成する機会や成長する機会を奪い、子どもの自尊心を低下させる一因にもなりかねないと危惧します。このような問題意識から、困難な状況にある子どもや家族が持つ健康性や発揮できる力を見出し、それを活かす支援を目指して皆様と学んでいきたいと考えました。

多職種の参加者からなる研究会ですので皆様の情報交換の場ともなれば幸いです。ご参加をお待ちしております。

【参加要項】

- **開催日時** 令和 8 年 5 月～12 月 (8 月を除く) 第 2 金曜日の 19 : 00～21 : 00
- **内 容** (裏面をご覧ください)
- **参加資格** 子どもの成長・発達に関わる専門職に従事する方
または同領域の大学院生で守秘義務を遵守していただける方
- **会 場** エル・おおさか (大阪府立労働センター)
大阪府中央区北浜 3-14 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ 300m
- **年会費** 20,000 円
 - 定例学術研究会令和 8 年度年会員として裏面の内容に参加可能です。
 - 年会員の方には毎回のご案内をさせていただきます。
 - 法人等団体としての登録も可能です。
 - 単回の参加 (参加費 : 4,000 円/回) も可能ですが必ずお問い合わせの上、参加申込をお願いします。

※ 公益財団法人 関西カウンセリングセンター研修ポイントが取得できます

【開催スケジュール】

開催日	内容(仮題)・講師
418回： 5月8日	■小児期逆境体験を抱えた子どもへの支援-児童心理支援施設での取り組み- 中村 有生先生（兵庫県立清水が丘学園 臨床心理士/公認心理師）
419回： 6月12日	■神経発達症から考えるレジリエンス 中川 元先生（げんクリニック院長 小児科医）
420回： 7月10日	■生まれたルーツを知らない子どものレジリエンス-児童養護施設での取り組み- 秦 香先生（社会福祉法人博愛社 臨床心理士/公認心理師）
421回： 9月11日	■養育困難な母のレジリエンスを高める支援の実際 南 朋子先生（八尾市保健センター 臨床心理士/公認心理師）
422回： 10月9日	■家族のレジリエンスを高める地域開業小児科クリニックの役割 田中 尚子先生（堅田医院院長 小児科医）
423回： 11月13日	■親の離婚を経験した子どものレジリエンス 曾山 いづみ先生（神戸女子大学心理学部心理学科助教）
424回： 12月11日	■レジリエンスの獲得-子ども時代の逆境体験を生き延びた成人例を通して- 三船 直子先生（大阪公立大学名誉教授 臨床心理士/公認心理師）

※ 令和8年1月末時点。各講師の講演日ほか詳細は調整・検討中です

※ 講演日が決まりましたら当機関ホームページ等でご案内させていただきます

連絡・問合せ先：一般社団法人 大阪総合医学・教育研究会 こども心身医療研究所

Tel.06-6445-8701 Fax.06-6445-7341 (担当 友滝・藤原)

定例学術研究会用メールアドレス: gakujuetsuken@kodomosinsin.com